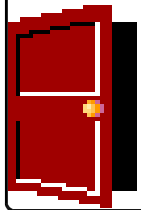


《読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》



読書活動への扉を開く！

桑村小学校 令和4年4月25日② 文責 渡邊

「保護者の声」の紹介の続きです。たくさん感想や意見を寄せていただきありがとうございます。たいへん嬉しいです。では、紹介いたします。

子供たちが自宅にある本の貸し借りをしなくなったなと思いました。学校でも本の話をしなそうです。するとしたら、ユーチューブ、ゲーム、テレビの話ばかりだということです。読んでいる本も短いもので、低学年が読む本をたくさん読んで読書の冊数を増やしている子もいるそうです。

また、本の貸し借りをしたり、お勧めの本の話をしてほしいです。もちろん家族でも、本の話し合いをしたり、読み聞かせをしたりして、読書の楽しさをこれからも教え合っていきたいと思います。（5年生保護者）

「読み聞かせ」が子供たちに、どのように良い影響があるのか改めて知り、大事であると再確認できました。そして、子供たちが幼い頃から、読み聞かせが大好きな理由が分かり、これからも続けていこうと思いました。

読書を通じて、更に成長していってほしいと思います。今回、このような読書活動についてのお便りをいただき、学ばせていただきました。ありがとうございます。

（6年生保護者）

時は日々進み、進化していくことが果たして良いのか、と思うことが多々あります。『読書活動への扉を開く』を読み、「たしかに」と同感しますが、学校でもパソコンの導入や今はスマホで読み、高校では、辞書ではなく、電子辞書メインの生活が現実です。しかし、私は、辞書をめくりすぐに見つける達成感や本をめくり、次のページのワクワク感を子供たちには知ってほしいです。うちの子も、たくさん本は読んでいないと思いますが、好きな本や本屋に行って興味をもった本、何でもいいので「紙の大切さ」「紙の感触」を教科書から始まり、やすらぎの時にずっとスマホではなく、本に手がいくような生活にして欲しいと願っています。（6年生保護者）

「読書活動の扉を開く」を楽しみにしていました。子供が成長していくにつれ、活動の優先順位も変わってきていて、家で読み聞かせをする時間はだいぶ減ってしまいましたが、学校で行っている親子の図書郵便や、朝の読み聞かせのおかげで、今でも本を通してコミュニケーションを取ることができています。特に、親子郵便では、相手のことを考えながら、本を選ぶ時間も楽しみの一つです。4月号を読んで、改めて「いくつになっても、読み聞かせをしてあげたい」と思いました。（6年生保護者）

我が家では、寝る前に一緒に布団に入り、5分程度、本を読むのが習慣です。本が好きになって欲しくて、幼稚園に入る前から図書館にもよく通っていました。弟たちも生まれ、最近では息子一人を膝に乗せて読み聞かせをする機会は少なくなりましたが今回お便りを読んで、子供たちを集めて、テレビを消して本を読む時間を設けられたら、私にとっても宝物の時間になるのだと思い出させていただきました。

自己管理能力については、「〇〇してはいけない」よりも「〇〇した方がよい」というような肯定的な考え方になるような言葉がけをしていけたらなと思っています。

学校での読書に関しては、ICT教育が充実してきたということで、読書の感想や本の紹介を他の小学校の子供たちとリモートでできたら素敵だと思いました。

最後になりましたが、先生とやりとりできる機会を作ってくださいありがとうございます。短い髪型もよくお似合いですよ。(1年生保護者)

私自身、小学校6年間で、「読書」というものに慣れ親しんだ記憶がありませんでしたが、今考えると、もっと読書をしていれば、もっと本を読んでいれば、もっと人の気持ちが理解できる人間になれたかなと思います。校長先生の言われる「読解力」については、日々の積み重ねで身に付くものだと考えます。最初は、やらされていると感じている子供たちも何かしらの「気づき」を発見し、本を読むことで、何かしらの成長が感じられれば、充実した日々が送られるのだと思います。(5年生保護者)

本を読むのが遅い自分にとって、かいつまんで「この本にこんなことが書いてあって、これが大事、大切だと思う」をサクッと教えて頂けることに感謝いたします。

ゲームも全部悪いわけではなく、学べるところもあるけれど、やはり「やりすぎ」の傾向で、違ったものにも目が向けられる子供たちに育てなければとも思います。「親の子育てのストレスが減る」のであれば、また、一緒にたくさん本を読んでいきたいです。(4年生保護者)

桑村小学校が町内で読んだ冊数が多かったのですね。素晴らしいです。読書への取組にやる気をもたせてくださってありがとうございます。

家では本に興味のある時期は読むのですが、読まないときは全く読まなかったのでここでもう少し、図書館に足を運ぶ機会を増やしたいと思います。(4年生保護者)

紙面の都合で、全員の方々の声が紹介しきれませんことお許しいただきたく思います。本当にすみません。

みなさんとうとう『読書活動の扉を開く』をきっかけに双方向的な交流ができることを嬉しく思います。これからもよろしくお願ひします。次回は、図書を参考に「読書の効果」についてお伝えしたいと思います。

最後に、今週末より大型連休に入ります。どうか安全に留意し、楽しく生活を送っていただきたいと思います。